

二十四時の月待講。

暗闇の 清水寺

第二夜



月が満ち、南中する真夜中。
清水寺の奥に、もうひとつの舞台が現れます。
ハンターズムーンの灯り、音羽の滝の音。
静寂の舞台に、一夜限りの秋が生まれます。
十月十三日の二十四時、特別な一席をご用意しました。

そこは真夜中、貸切の清水寺へようこそ。

2019

10/13

【SUN】



世界を旅する。プラントハンター
西畠清順が彩る一夜の秋。

月下のインスタレーション

清水寺を創建した行叡居士と、開山延鎮上人が出会われた
草庵の場として伝わる「奥の院」。

非公開の秘仏「三面千手観世音菩薩像」も
安置されている重要文化財です。
満月が灯る奥の院に、西畠清順が生み出す秋とは。



千年以上経た今も枯渇することなく流れる十大名水のひとつ。

六根清浄「金色水」

およそ千二百年前、夢のお告げによって清い水を探していた延鎮上人は、
やがて「筋の「光る水」を見つけました。

その源流を辿ると、滝行をする行叡居士が在りました。この出会いに清水寺は始まります。
そしてその光る水は「金色水」と呼ばれ、観音さまの化身でもありました。

特別な舞台の上で、ゆっくりじっくり、味わってみませんか。
清く澄んだ水が、今度は、あなたの中を流れていきます。



西畠清順（そら植物園 代表・森清頭（清水寺 執事補）

特別対談「水」産湯から死に水まで」

「水は人生の始まりから終わりまで、命の営みと深く関わっています。

それは皆に共通で、水と生は切り離せるものではありません。

裏を返せば、水が変われば生き方も変わるかもしれません。

それぞれの立場で、日々、命と向き合う両氏には興味深いエピソードがあります。



西門、特別開門。

月灯りの洛中、秋の夜長を一望。

極楽浄土を彷彿とさせるほど
美しいと評された西門からの夕景。

今回は、更に時が進んだ真夜中に、
特別開門します。

その新しい景色の彼方へ、五感で旅を。

第一夜より



千本のカーネーションと、仏の印相に酷似した
インドネシアの枯木によるインスタレーション。
重要文化財「経堂」に再現された
ルンビニーの花園の中で、
両氏の対談が行われた。



西畠清順
にしはた せいじゅん

そら植物園株式会社 代表取締役。21歳から日本各地・世界各国を旅して、さまざまな植物を収集し、依頼のコンセプトに見合う植物を届ける。年間平均250トンもの植物を輸出入し、日本はもとより海外の植物園、政府機関、企業、貴族や王族などに届けている。2012年、「ひとの心に植物を植える」活動を行う【そら植物園】を設立。植物に関するイベントや緑化事業など、国内外のプロジェクトを次々と成功させ、植物界の革命児として反響を呼ぶ。著書に「教えてくれたのは、植物でした」(徳間書店)など。



森清頭
もり せいげん

立正大学大学院修了、博士(文学)。清水寺執事補、泰庭寺住職。上智大学グリーンケア研究所非常勤講師、立正大学日蓮教学研究所研究員、立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員、京都市社会教育委員ほか。千二百年以上の歴史を有する清水寺において、その由来をはじめ、清水観音信仰や京都の文化や風習などに関する法話会や講演、新聞コラム執筆など、より身近に仏さまを感じていただくため積極的な活動を行っている。自身で企画、出演も務めるFM大阪のラジオ番組「西国三十三所 Trip around 33」が「JFN賞2019」地域賞を受賞。

開催日時 **10/13(日) 23:00(集合) 14(月・祝) 1:00(終了予定)**

※集合解散ともに現地となります

会場 **音羽山 清水寺** 〒605-0862 京都市東山区清水一丁目294

※集合場所の詳細は、お申込み確定後、追ってご連絡いたします。

参加費 **10,000円(別途拝観料)**

※18歳未満の方のご参加はご遠慮ください

※天候により内容に変更がある場合がございます

※境内は薄暗く足元も不安定になりますので、歩きやすい靴でご参加ください

定員 **100名(先着順)**

お申込み

※事前のご予約が必要

以下の連絡先に
「①お名前 ②ご住所 ③ご連絡先電話番号」を明記の上、
お申し込みください。

E-mail: funada@nippon-junrei.jp

FAX: 075-320-2910

※定員に達した時点で受付を締め切らせていただきます。ご了承ください。

お問い合わせ

株式会社国連社 日本巡礼事業部

担当者連絡先: 船田まで 090-9653-8888

E-mail: funada@nippon-junrei.jp